



退魔師イリーナ.2
～墮落苗床化編～



退魔師イリーナ.2
～墮落苗床化編～

先日、妖魔達の畏にかかりあられもない動画を隠し撮りされてしまい
イリーナは脅迫通りに指定された某所へ訪れた

…約束通り
ちゃんと来たわよ……

姿を見せなれど……



おお…
ようやく来たか！

ぐっ…

少し様性も出たが
見事に尻にかかったな

そういうとヌルヌルと奥から妖魔の姿と触手がイリーナのもとに伸びてくる



触手が近寄っていき先日のように催淫ガスが辺りに充滿する

う……
またこの臭い……

グフフ……
やはり良い身体をしているな……





ち…ちよつと！
ちゃんと来たんだから
あの動画は削除してよ！

グフフ…
タダで消してもらえんとは
思っていないよなり？

う…何を…
すればいいのよ…



もちろん
その邪魔な衣装を脱いでもらおうか

うっ...

うっ...
なんとなく
予想はしてたけど...

アレを公開されるくらいなら...

顔を赤くしながら上着を脱ぎ捨てイリーナは乳房を晒すが
恥ずかしさのあまり声が漏れる

う...う...う...

グフフフ…
いいぞお…

ほらどうした
下も脱ぐんだぞ

.....

おっと...
手が滑ってあの動画が
大公開されてしまうな...

ぐうぐうぐう...

脅しをうけ悔しさに呻きながら、ためらいがちにパンツに手をかける



パンツを脱ぎ捨て恥ずかしさのあまり呼吸が荒くなってくる

おお...
パンツの下も綺麗に
つるつるじゃないか

あら...
そのお胸へんじやないや...



触手がイリーナの無防備な身体に伸びていき身体をまさぐり始める

「…!?」

おっと
動くんじゃないぞ…

しっかりと
その身体を吟味しないとな…



催淫ガスの効果と度重なる自慰行為でイリーナの感度はかなり上がっていた

フフフ…
やはり感度は
なかなか良さそうだな

あ……………うー

う……………あ……

はあ

ムニムニ

ムニムニ



っ!!

えっ...別だっ...
感じてなんかっ...なりっ!

ほっ...
本当でそうかなあ...

快感に身を震わせていたイリーナは慌てて強がって見せる

グフフ…
見てみる…

お前のいやらしい蜜で
触手が汚れてしまった

そっ…それは…

うっ…

トロ

股間をまさぐっていた触手からはイリーナの愛液が滴っていた





さて
感度も十分だし

そのままだ
奥へ来てもらおうか...

.....

まだこんな
辱めを受けるの...っ

こうしてイリーナは裸のまま
奥へつれていかれる



触手がイリーナの手足を縛り上げ抵抗できないようにする

こうやって拘束しておけば
多少暴れても大丈夫だろう

良く濡れて
準備も完了しているな

イリーナは悔しさに呻きながらも股間からは愛液が滴っていく





見てみる...
昨夜、お前に踏みつぶされたものと
同じ種の触手だ...

こいつらが
もっと仲間を増やしたいらしい

これまでも多くの仲間たちが
お前たちに滅ぼされてきたからな...

...うう...
だって...それが仕事だし...



感度が上がった身体には触手が触れただけで快感が全身に走り抜ける

ひゅ...
んん...
んん...

は...
んん...
んん...
んん...

それは言い訳にはならんなあ...

くちゅ









「……こんなことして……
絶対許さな……から……」

「おやおや
まだそんな態度を取るのか」

「……
その……」



膣内に入り込んだ触手が激しく蠢きはじめ、いきなりの激痛に
イリーナは叫び声を上げ暴れる

しかし、時間がたつにつれ痛みが薄れていきイリーナの声に変化が起こる

ふ……っ……あ……ん……

んっ……
うっ……っ

や……あ……何で……

急にアソコがしびれてきて……
ゾクゾクがとまらない……！

膣内に入り込んだ触手が分泌した粘液は痛みを押さえ快感を増幅し
イリーナを絶頂に近づけていく







激しい絶頂のせいかイリーナの頭がついていかず現状の理解が遅れる

まだドクドク
いってる...

あ...う...これ
まだ...っ

あ...
ああ...

グフフ...
見事な絶頂だったぞ...

これだけ出せば
間違いなく種付け成功だな

どろろ
どろろ
どろろ

触手が引き抜かれ膣内から大量の精液が溢れてこぼれだす

ああ……
ああああ……

そんな……
嫌あ……

未だ絶頂の余韻が強く残り放心しているイリーナの心に
絶望感が広がっていく



翌日



イリーナが気絶してから数時間が過ぎたが拘束は続いていた

oooooooooooo

ぐふふ...
目が覚めたか

ずいぶん長く
眠っていたな





しばらく気絶していたイリーナの精神力は少しだけ回復していた

あたし…気絶して…
なんて格好に…

目夜、人々のために
戦う者が恥ずかしい格好だな

うん…うん…



っ…待ってなんか…!

ん…?
ほんとかな…?

ほら…
お待ちかねの物だぞ…

ほらみる
何もしてないのに
いやらしい液が垂れてきたぞ

何度も絶頂させられ媚薬漬けにもなっているイリーナの身体は触手を見ただけで条件反射のように発情してしまう

あ.....うう

77

ト



何で身体が疼いて...っ
あの触手見ると...

膣内をかき回されるとこが
頭に浮かんで...ソクソクが止まんない...っ！

入れてほしいんだろ？
お願いしたらどうだ？

くっ.....きゅっ



う……………

何であたしがこんな……
こんな目に……………

ど……………か……
その触手も……………あたしの……

お……………お……………
……入れ……………

羞恥にあまり消え入るような声でお願いをしたイリーナは屈辱感に満ちていた



声が小さすぎて
よく聞こえなかったからなあ
間違えたかな？

そっ...
そっぢゃないっ！

なに...!?
あっ...ぐっ!?

フフフ...
これでいいかな？

プキッ

心が追い詰められていたイリーナはほとんどヤケになって叫ぶ

あ…あたしの！
おっ…おまんこだ！
入れてください！！

グフフフ…
言えるじゃないか…







おお…
お尻に入れただけで
こんなに愛液があふれて…

どんだけ
期待してたんだ変態め！

あ…あ…
なんで…え…

トロ

ギッ



グフ…
入口がキツキツだな

これは柔らかくなるまで
しっかりほぐしてやらないとな…

う…ぐっ
ああ……

何でお尻に入れられて
キュンキュンしてんのよお…





アナルと運動して
おマ○コまでヒクヒクしてきて

だいぢほぐれてきたかな？

ぢゅ

ん

ん

ぼ

ダメッ…
イっちゃうっ…
お尻で…なんてっ

お

ぎ

く





アナルでのイキ方も
覚えて嬉しそうに放心してるぞ

これなら妊娠中も
立派なおナホールとして活躍できるな

コ
ポオオ...

おお...
ケツ穴が開きっぱなしになって
腸液が溢れて来たな

ビッ

ハッ

はっ

んえ♡

数日後



種付けされたイリーナの腹は急激に膨らみ、たった数日で産気づいていた



おなかの中の
動きが急に激しく...っ!?

ん...
ん...
ん...
ん...
ん...

グフフ…
産気づいてるな…

さあ…
頑張って元気な子を
生むのだ

何かが子宮の中で
暴れて…気持ちいい……っ

ぐんぐん……っ

妖魔の幼体ができる過程に脳内に信号を出し一切の痛みを感じさせず
出産時に強い快感をもたらし、洗脳していく





もうすぐ
生まれるぞ！

おお！
破水したな！

う……
な……何……

ブ
シ
ャ



ふ...嫌...
ずい...
な...回...ば...ら...ば...

も...う...も...
おマ○コの中
何かがぐにゅぐにゅ
動いて...っ!?

ぬ
ちゅ

しゅ
ちゅ

イリーナは全力でいきみ、胎内にいる幼体を押し出そうとする





う...ああ...
やめてえ...膣内を
刺激しないでえ...

ハァー！

あぐん
ハァー！

ちゅる

ブ
ポッ

ぐ
ちゅる

胎内から触手が何本も溢れ出しイリーナの身体に絡みつく







ぐふふ...
おめでとー！

お前の初めての子だぞ

あたしの...子...？
もう...何が...あ
わかんない...

ヤハ

ハ

ハ

グフフ…
よく頑張ったな
えらいぞ

だがまだまだ
たくさん産んでもらわないと
いけないからな

回を重ねるごとに
より快感を得られるから
今後またのんだぞ

ああ…そんな…

あ…うえへ…

これからも何度もこんなことをすると知りイリーナの中で何かが壊れる
イリーナの意識は薄れていき諦めからか虚ろな笑いが浮かんで来る





それから1週間ほどたったある日

ダメだよお…♡
次の子がおなかの中にいるんだから
膣内に入っちゃだめえ…♡

あん♡
……
……

ぐ"ちゃ

ぐ"ぽ

イリーナは、自らが産んだ触手たちに犯され続けていた





君も濃いく精液
いっぱい出して子作りしようね♡

あはっ♡
君もいっぱい出して子作りしようね♡



いっしょに
なまけ
く

ん
お
お
お

ぐ
ぢ
ぢ
ぢ

ぬ
ぽ





あー…へへ…
もう…嫉妬しちゃったの？

とろろー

ん
ろ
おー

仕方のない子ね…♡
次はもっと優しく甘えてね…♡



こうしてイリーナは、
自分の子供たちを産み続け
幸せに浸りながら過ごしていく